

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	東九州支部	(2) 記載者氏名:	阿南寿範	会員番号:	9169	事務局整理記入欄
分水嶺区分	小場の峠～無田の台(K061とK063の間)	(3) 山行日:	2004年	12月	26日	(4) 天候: 曇り時々雨

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

西 孝子	8325						
中野 稔	13997						
阿南寿範	9169						
計				3名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	分水嶺は、国道387号線の峠を横断している。国道387号付近のルートは風倒木が多くとても歩きにくい。												
アプローチ:	大分県玖珠町から国道387号に入り、大分県院内町へ向かう途中の小場という集落の先の峠から稜線にとりつく。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	国道387号線小場の峠	森	131	11	53.2	33	19	46.9			8:58	B-2	
分水嶺到達点	国道387号線小場の峠												
	鞍部	森								10:15	10:15	B-1	
	稜線	森								10:52	10:52	A-2	
	無田の台	森	131	12	5.3	33	19	23.6	794	10:55	11:58	B-1	
分水嶺離別点													
歩行終了点	国道387号	森								12:15		B-2	
										総歩行時間(休憩時間を除く):			

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
	無田の台	3	正確	良好	牧場とヒノキ植林地の境界線近くの、植林地内にある

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

・分水嶺(国道387号)の地点から院内町側約200mに東奥山七福神(巨石群)がある。この七福神は、1991年(平成3年)の台風で山の木々が倒れそれまで見えなかった巨石群が突然姿を現した。ここから見る谷河内の景の山々に連なる岩は八百万の神々を連想させる神々しい風景である。

(9) 水および植生に関連した特記事項

・東奥山七福神 展望台のそばに「招福の水」と言われる湧き水があり人気のある名水である。

(10) その他の特記事項


(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 無田の台の三角点

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



無田の台の三角点